

成果の説明書

(氏名)太田 慧	(学部)地域政策学部
1 重要事項 【教育上の成果に関する事項】 本年度は、地理情報システム論、地理学、地域統計論、基礎演習、演習 I、演習 II を担当した。詳細は以下のとおりである。 ・ 地理情報システム論：地理情報システム（GIS）の基礎的な理論や考え方を伝え、地理情報システムのソフトウェアである QGIS を用いた実習を実施した。これにより、GIS を用いた地域分析の基礎と地図によるプレゼンテーション技法を習得させた。 ・ 地理学：地理学の基礎的な考え方や理論を紹介し、主に人文地理学のテーマを具体的な地域をとりあげながら説明することで、地理学的な知識の定着を図った。 ・ 地域統計論：地域政策学部での今後の学習に必要なとなる基礎的な統計の知識について、WebGIS などを紹介しながら実践的な内容を紹介した。 ・ 基礎演習：2 年生向けのゼミを担当し、観光地理学の書籍「ツーリズムの地理学－観光から考える地域の魅力（二宮書店，2019 年）」の輪読を行った。本年度は全面的に対面形式で開講した。 ・ 演習 I：本年度の 3 年生向けのゼミは、高崎市の地形模型を作成し、そこに GIS で作成した主題図を投影するプロジェクションマッピングを作成した。 ・ 演習 II：本年度の 4 年生向けのゼミは、主に卒業論文指導を行った。9 月には地域づくり学科 3 ゼミ合同の中間報告会を実施するとともに、2 月の卒論発表会において成果報告を行った。ゼミ生の卒業論文は卒業論文集としてまとめた。 【研究上の成果に関する事項】 今年度に公表した研究上の成果は以下のとおりである。 (論文) ・ 太田 慧 (2022)：東京臨海部の再開発と土地利用，都市問題，113 巻 第 6 号，pp. 68-77. ・ 太田 慧 (2023)：GIS を活用した地形模型の製作とプロジェクションマッピングの実践，地域政策研究，第 25 巻 3 号，pp. 193-204. (学会発表) ・ Iizuka, R., Kikuchi, T., <u>Ota, K.</u> (2022): New rurality and sustainability of agriculture in Japanese urban fringes: a case study of Kodaira City, Tokyo Metropolis, The Royal Geographical Society, Annual International Conference. ・ 太田 慧 (2023)：群馬県高崎市における中心市街地の業種構成と空間特性，日本地理学会春季学術大会. (研究費) ・ 日本学術振興会 若手研究「周辺地域における海岸観光地の存立基盤と適正利用に関する比較研究」，研究代表者：太田 慧（継続） ・ 高崎経済大学地域科学研究所「地方都市中心市街地研究－人口減少時代におけるまちづくり－」，研究代表者：阿部圭司（継続） ・ 高崎経済大学地域課題研究「GIS を用いた高崎市における中心市街地の空間構成の可視化と活性化に関する研究」，研究代表者：太田 慧（新規）	

2 その他の事項

- ・ 2022年6月に高崎経済大学連携公開講座において市民向けに地図の特性について講演した。
- ・ 2022年7月の高崎経済大学オープンキャンパスにおいて、演習Ⅰで作成した高崎市の地形模型を用いたプロジェクションマッピングを展示した。この成果は「GISを活用した地形模型の製作とプロジェクションマッピングの実践」として地域政策研究に掲載した。
- ・ 2022年7月にラジオ高崎のラジオゼミナールにおいて、地理学の動向と自身の近年の研究成果について解説した。

3 次年度以降の計画・抱負

【教育関連】

今年度担当した科目の改善を行うとともに、次年度は全面的に再開した対面講義・ゼミに向けた授業を実施するための準備を行う。

【研究関連】

昨年度から継続して取り組んでいる高崎市中心市街地の空間特性などの研究課題をまとめる。